

## 第1回総務常任委員会会議録

- 1 開会日時 令和2年11月12日（木）午前10時0分
- 2 閉会日時 令和2年11月12日（木）午前10時26分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員  
1 番 永徳 省二君                      3 番 佐藤 武君                      7 番 大口 浩志君  
1 2 番 北川 勝義君                      1 6 番 下山 哲司君                      1 7 番 実盛 祥五君
- 5 欠席委員  
な し
- 6 説明のために出席した者  
総合政策部長 安田 良一君                      総務部長 塩見 誠君  
財務部長 藤原 義昭君                      消防長 井元 官史君  
秘書広報課長 小引 千賀君                      政策推進課長 花谷 晋一君  
総務課長 小坂 憲広君                      暮らし安全課長 岡本 和典君  
財政課長 和田美紀子君                      管財課長 戸川 邦彦君  
消防総務課長 檜原 秀幸君
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 元宗 昭二君                      主 事 松尾 康平君
- 8 協議事項 1) 事業の進捗状況について  
2) その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（佐藤 武君） それでは、皆さんおはようございます。

ただいまから第1回の総務常任委員会を開会いたします。

なお、委員の皆様にご了解いただきますけれども、招集通知のほうで10回ということで御案内をしておりました。このたび所管が変わりましたので、改めて第1回の委員会開催ということになりますので、御了承をお願いいたします。

それから、いつものとおり、出入口につきましては開放のまま委員会を進めさせていただきますので、また御了承ください。

それでは、これから協議事項に入ります。

1番目、事業の進捗状況について執行部から説明をお願いします。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 政策推進課より総合計画及び総合戦略の取組に関する市民アンケートの調査結果について御報告を申し上げます。

総合政策部資料を御準備いただければと思います。

別冊でお配りしております分厚い冊子につきましては、後ほど御覧いただければと存じます。この冊子につきましては、委員会が終わりましたら他の委員会に所属されておられます議員皆さんにお配りしまして、後ほどホームページで公開する予定としております。

それでは、総合政策部資料の1ページをお開きください。

アンケート結果を抜粋しておりますので、その資料を基に御報告いたします。

調査時期は本年6月に18歳以上の市民の方を対象に無作為で3,000の方を抽出しまして、1,413人の有効回答をいただいたところでございます。有効回収率は、47.1%となっております。地域別の回収数は、1ページの下段にありますとおりでございます。

2ページを御覧ください。

アンケートにつきましては、地域の比率、年齢、性別等を考慮しながら配布を行いました。アンケートを回答いただいた方の性別、年齢を集計したものが2ページへ載っております。アンケートの回答者の年齢層は、人口比率に対しまして60歳代以上の回答割合が少し高くなっております。平成26年度に調査したアンケートと比較しますと、40歳以下の割合が今回36.7%と約8%高くなっているのが特徴と言えます。

3ページをお開きください。

アンケートの総括としまして、施策の満足度と重要度の相関図による分析を行っております。横軸を満足度、縦軸を重要度とした表にアンケート調査を項目ごとに当てはめ、A、B、C、D、それぞれの領域に区分するもので、特にAは施策の重要度が高く、満足度が低いと感じているものが分類され、重点化見直し領域の事業となっております。

4 ページを御覧ください。

そのAゾーンに位置する主な事業は、1、雇用労働者対策の充実、2、道路交通ネットワークの整備、道路交通網の整備、11、雇用労働者対策の充実ということで十分な雇用の場の確保、30、31、32、33、34、道路交通ネットワークの整備ということで公共交通の充実、37、高齢者福祉の充実がAゾーンにあります。

こういった結果につきましては、今後のまちづくりに反映するため、庁内で情報共有いたしまして、総合計画並びに総合戦略の推進などに生かしてまいります。公共交通を担当しております政策推進課としましても、この結果を真摯に受け止めて、引き続きバスの路線再編など、努めてまいりたいと考えております。

政策推進課からは以上です。

以上で総合政策部の説明を終わります。

○委員長（佐藤 武君） 総合計画、戦略の概要ということで御説明をいただきました。

事業の報告についてはこの1件ですけれども、詳しい報告書も別冊でお手元に届いておりますので、その部分も含めて質疑があればお願いします。

それじゃあ、委員の皆さんは資料を見ているので、私から。

アンケート内容について、前回のアンケート内容と大きく変わりはないと思うんですが、そのあたりについて内容の中身について御協議いただいたのか、それから大きく変更した部分について何かあるか、そこら辺をお願いできますか。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 今回のアンケートにつきましては、平成26年度からずっとアンケートを採らせていただいておりますが、今回のアンケートをするに当たりまして庁内にこういったアンケートを追加するべきかという、してほしいかということの協議をかけております。その中で2点追加をさせていただきました。

1点は、所管をしております公共交通について、より詳しくどういうところがネックになっているのかということの項目を多く設けさせていただきまして、個別のアンケートをさせていただきました。

もう1点につきましては、くらし安全課が所管されております防災ラジオの関係で、ラジオをお聴きする方ということを重点的に調査させていただいたということを加えております。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） 防災のラジオを何て言われたんですか。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） 別冊の分厚い冊子で申し上げますと、25ページ、26ページの

あたりの質問を追加させていただいているということです。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 1つ聞きたいんですけど、このアンケートを採ってどういうふうな感じをお持ちになられとんかというのをお聞きしたいんですけど。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） このアンケートを採らせていただきまして、総合政策部資料の4ページを御覧いただきますと、アンケート結果によりますと、重要度、満足度ともに高い要素としてごみの分別収集や、あと子供たちが充実した教育を受けられる環境や健全に育成できる環境として学校教育の充実、青少年健全育成、また交通安全、防犯体制、あと保健医療の充実、消防、防災の充実などはBゾーンでございます。こういうものは、赤磐市が選ばれている要素ということになるので、この評価を維持できるように、また向上できるように努めてまいりたいと考えております。

また、昨年度アンケートを採ったときから、所管をしている公共交通というものがやっぱりこのまちづくりの中で重要な要素を占めているということでございますので、今後も引き続きこの公共交通満足度が上がるように計画の推進に努めてまいりたいというふうに決意を新たにしましたものでございます。

以上です。

○委員（永徳省二君） 要望でいいですか。

○委員長（佐藤 武君） 要望も含めて。

永徳委員。

○委員（永徳省二君） 今日これは、例えばアンケートを今渡されて、約80ページ以上、今質問しろとかって言われましても、なかなか、80ページ、これは、例として何を質問するのっていう話で、例えばこういうのはもうちょっと事前に渡してもらった上でこういう委員会を開くとかというふうにしてもらおうと、もうちょっとスムーズに行くのかなというふうに思いましたので、要望として。

○委員長（佐藤 武君） 分かりました。なかなか中身を見る時間がないので申し訳ないんですが。

それじゃあ、1つだけ、公共交通に関心というか、アンケート項目を設けていただいて、重要度が高いということですけども、そうした中で免許証の返納率であるとか高齢化率とかというのは把握されていますか。特にそこまではされてないですか。

○政策推進課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 花谷課長。

○政策推進課長（花谷晋一君） アンケートではその調査は行っておりませんが、個別に、すみません、今その数字を持ち合わせておりませんが、免許返納者が何人、愛カードを持たれている方が何人というようなことは把握をさせていただいております。

以上です。

○委員長（佐藤 武君） 特にはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐藤 武君） 委員のほうからも要望がありました。なかなか調査資料をまとめるのに時間がかかるということも御理解するんですけども、極力早めに中身の検討をしたいということで、早めに資料のほうも配付していただければありがたいと思いますので、よろしくお願ひします。

それでは、事業の進捗状況ということで、この1件ですが、これで終了いたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐藤 武君） では次に、その他ということで、それぞれの12月定例の提出予定議案についての概略説明をお願いしたいと思ひますので、執行部のほう、よろしくお願ひします。

○総務課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 小坂課長。

○総務課長（小坂憲広君） まず、総務部からその他の案件としまして、令和2年12月議会定例会提出予定議案についてということでお出ししております。

総務部資料を御用意いただけたらと思ひます。

まず、総務部資料の1ページ目からになります。

まず、総務課からですが、提出予定議案といたしまして、まず1番目としまして、赤磐市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を提出する予定にしております。

内容につきましては、赤磐市職員の給与に関する条例の一部改正、それから赤磐市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正となります。

主な内容ですが、人事院勧告に準拠しまして条例改正を行うもので、期末手当の支給率の改正でございます。

まず、①の赤磐市職員の給与に関する条例ですが、一般職員の期末手当の支給率を0.05か月分引き下げるものでございまして、公布の日から施行の予定でございます。

②番につきましては、赤磐市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例になりまして、特定任期付職員の期末手当の支給率を0.05か月分引き下げるものでございます。こちら、公布の日からの施行を予定しております。

続きまして、2ページ目になります。

赤磐市コンプライアンス条例の制定でございます。

こちらですが、職員等の職務に係る法令等の遵守及び倫理保持のための環境及び体制の整備を図るため、制定するものでございます。

内容につきましては、不正な要求等及び不当要求行為並びに公益通報の対応、手続等について今回定めるものでございます。こちらの提出を予定しております。

続いて、3番目になります。

令和2年度赤磐市一般会計補正予算（第7号）になります。

こちらの内容ですが、先ほど言いました人事院勧告に準じた給与改定、それから人事異動による各支出費目の調整に係る人件費について予算を補正するものでございます。こちらにありますように、給与、給料、職員手当、共済費、合わせまして5,300万円を減額するものでございます。

続いて、②番になります。

令和2年度個人番号通知書・個人番号カード関連事務の委任等に係る交付金の予算を補正するものでございます。

内容につきましては、マイナンバーカードに係ります関連事務の委任等に係る交付金、こちらが歳入歳出でございますが、こちらの予算を増額するものでございます。金額につきましては、2,762万6,000円を歳入歳出で増額するものでございます。

総務課からは以上でございます。

○くらし安全課長（岡本和典君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 岡本課長。

○くらし安全課長（岡本和典君） 引き続きまして、総務部資料の3ページを御覧ください。

くらし安全課から令和2年度赤磐市一般会計補正予算でございます。

歳入といたしまして、防犯カメラ設置支援事業の補助金、これが、岡山県の岡山県子ども見守り防犯カメラ設置支援事業補助金の制度が今年度より施行されましたので、それに伴いまして、それぞれの地域で防犯カメラを設置した場合に市から補助をいたしておりますが、それに対する財源充当となっております。これが20万円の補正ということで予定をさせていただいております。

総務部からは以上です。

○財務部長（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 藤原部長。

○財務部長（藤原義昭君） それでは、財務部資料を御覧ください。

12月議会定例会提出予定議案3件でございます。

1件目につきましては、地方自治法第180条の規定による市長の専決処分の報告でございま

す。

内容につきましては、先月10月委員会で説明させていただいたとおりでございます。こちらは、12月議会に報告させていただきます。

次に、赤磐市税外収入督促手数料及び延滞金徴収条例の一部の改正についてでございます。

こちらは、今年の3月に地方税法の一部改正により赤磐市税条例の改正を行ったことに伴いまして、この条例も同様に用語の見直しを行うものでございます。改正については、令和3年1月1日からとしております。

次に、赤磐市一般会計補正予算（第7号）でございます。

こちらは、今回の補正予算に係る財源調整、3,676万1,000円を行うものでございます。

以上で財務部の説明を終わります。

○消防総務課長（榎原秀幸君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 榎原課長。

○消防総務課長（榎原秀幸君） 令和2年度12月議会定例会提出予定議案について説明させていただきたいと思っております。

1枚物の消防本部資料を御覧ください。

初めに、赤磐市火災予防条例の一部改正について説明させていただきます。

電気自動車等の急速充電設備の全出力の上限を50キロワットから200キロワットまで拡大し、併せて構造及び管理に関する基準の細目の改正並びに急速充電設備の設置の届出を追加したため、条例の一部改正をするものでございます。

続きまして、補正予算（第7号）について説明をさせていただきます。

事業用消耗品の項目と物品廃棄手数料の項目にPFOSというローマ字がございますが、PFOSと書きましてピーフォスと読みます。これはペルフロロオクタンスルホン酸の略称で、令和2年6月1日に消防庁からの通知がございまして、残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約により、難分解性、生物蓄積性及び長期毒性を有する化学物質で、泡消火薬剤に含まれており、規制対象物として追加されたことを踏まえ、令和4年度末までに廃棄を指示する内容でございます。

現在当消防本部では泡消火薬剤を980リッター保有しており、この泡消火薬剤を油火災や車両火災で使用するにより、地面に染み込んだ薬剤が赤磐市民に対し健康被害を与える可能性があるため、保有の消火薬剤廃棄料として22万円、毒性のない泡消火薬剤購入費として316万8,000円、計338万8,000円を計上させていただくものでございます。

続きまして、年末年始の事業についてお知らせいたします。

本年度の赤磐市消防団年末夜警は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、12月28日の1日のみの実施で、時間にあつては20時から24時の2時間の短縮で行います。夜警出発式は、28日の19時から消防本部で執り行います。

年が明けまして、令和3年赤磐市消防出初式につきましては、1月17日日曜日に執り行いますが、コロナ禍の折にて規模を縮小し、内輪だけの厳かな式典を考えております。議員の皆様方全員に式典の御案内を差し上げるのが本来ではございますが、このたびは案内を差し控えさせていただきますと思います。感染防止を最優先に考えての判断でありますことを御理解いただけますようお願いいたします。

資料にはございませんが、1点報告させていただきます。

11月9日月曜日から15日の日曜日まで、全国一斉に秋季火災予防運動が実施されております。赤磐市消防本部でも、火災予防の普及啓発と火災撲滅、そして危険物施設の災害防止等の目的が達成できるよう、最後まで事業を遂行したいと考えております。

以上、簡単ではございますが、説明並びに報告とさせていただきます。

○委員長（佐藤 武君） ありがとうございます。

その他ということで、12月の提出予定議案、それから年末年始の事業について説明をしていただきました。

これについて事前審査にならない程度で質問があればお願いします。

○委員（永徳省二君） 1個だけ。

○委員長（佐藤 武君） 永徳委員。

○委員（永徳省二君） 消防本部に質問ですけど、PFOS、この薬剤を噴出したら人体にどのような影響があるんですか。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 委員長。

○委員長（佐藤 武君） 檜原課長。

○消防総務課長（檜原秀幸君） 人体に吸収されますと人体からなかなか薬品、毒物が抜けない、特に発がん性物質があるというようなことを記述では書かれております。ほかの記述では、5年から6年体内にとどまるというような記述の内容のことも書かれておる資料がございます。

以上でございます。

○委員（永徳省二君） ありがとうございます。

○委員長（佐藤 武君） 本番でしっかり聞いてください。

ほかにないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐藤 武君） それでは、その他についても質問なしということで、終わらせていただきます。

以上をもちまして第1回総務常任委員会を閉会します。

大変お疲れさまでした。

午前10時26分 閉会